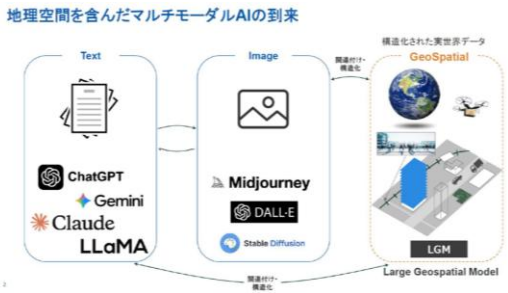
「ジオAI研究会」中間整理（概要）（令和8年5月）

国土交通省

地理空間情報（G空間情報）とAIの融合（ジオAI）により、より広い分野で、より多くの人に、より深く、G空間情報の活用を推進し、防災・減災やインフラ管理、スマートシティや不動産、ロボティクスや自動運転など、多様な社会課題の解決や生産性向上を図るため、**産学官による取組の方向性を整理。**

1.課題認識

○地理空間情報は質・量ともに充実。
○一方、現状のAIは、地図や地理空間情報の意味解釈が苦手との指摘。



2.ジオAIが目指す姿・価値

○「地理空間情報を適切に処理できるAI」の構築により、人間の地理空間的・時系列的な認識能力を拡張。（統合性、先行・予防性、迅速性、再現性、拡張性）
○機能は、AI for GIS（データ整備、可視化・データ分析）やGIS for AI（推論・提案・行動）に分類され、相互補完的な進化を期待。

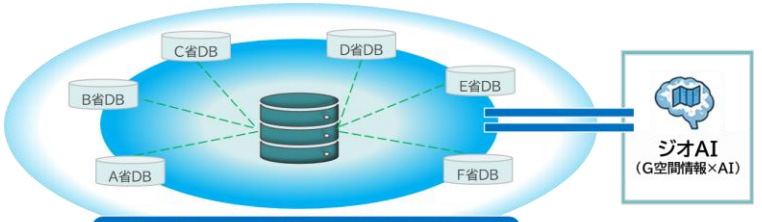
3.ジオAIが期待される分野（例）

○防災・減災、都市計画・交通、不動産、インフラ維持管理、マーケティング、ロボティクス、観光・物流などのほか、分野横断で複合課題の同時解決や、フィジカルAIにも貢献。

4.全体アーキテクチャ（イメージ）

○全体アーキテクチャは、①価値、②技術（アプリ層、モデル層、連携・流通層、データ層）、③ガバナンスで構成。

5.取組の方向性



G空間データスペース（仮称）の形成
～withAI時代の新たな共通基盤～

①地理空間情報×AI

- 「地理空間情報を適切に処理できるAI」の開発・利用を検討
- ジオAIに係るユースケースの創出　・基礎研究・共同研究の推進　等

②AI-Readyなデータ

- 地理空間情報のオープンデータ化・AI-Ready化指針（品質及び信頼性の確保）の策定
- 公的地理空間情報（国土数値情報、3次元データ等）の整備・更新・AI-Ready化　等

③データ連携・流通基盤

- G空間情報センターのAI拠点化
  例）MCP・RAGなどの技術を用いたAI検索・探索環境の開発・提供
  例）空間IDや不動産ID等の提供
- G空間情報センターをハブに「G空間データスペース（仮称）」を形成　等

④ガバナンス

・信頼性担保・セキュリティ・プライバシー等に関する課題の検討　等

⑤人材育成

- G空間EXPOやイチBizの活用
- GISとAI研究コミュニティの連携　等

「ジオAI研究会」の開催概要

国土交通省

研究会の構成員（50音順・敬称略・◎は座長）

【委員】
井上　陽介　一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センターセンター長
大橋　弘　東京大学大学院経済学研究科教授
川島　邦之　一般社団法人LBMA Japan代表理事
河端　瑞貴　慶應義塾大学経済学部教授
清田　陽司　麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
久保 信明　東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授(令和８年3月まで)
越塚　登　東京大学大学院情報学環教授
坂下　哲也　一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
◎柴崎　亮介　麗澤大学副学長／東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
島崎　康信　株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
髙瀬　啓司　ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
布施　孝志　東京大学大学院工学系研究科教授

【オブザーバー】
公益財団法人 日本測量調査技術協会
一般社団法人 地理情報システム学会
【関係省庁】
内閣官房デジタル行財政改革会議事務局
内閣府科学技術イノベーション推進事務局
内閣府宇宙開発戦略推進事務局
総務省
経済産業省
国土交通省
【事務局】
内閣官房地理空間情報活用推進室（G空間室）
国土交通省政策統括官付地理空間情報課
国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課

各研究会の概要

○ **第１回研究会：2026年2月9日開催**
◆ 主な議論内容：
・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の洗い出し
・委員からの発表
◆ 発表委員：
・麗澤大学/東京大学大学院 柴崎委員
・麗澤大学　清田委員
・ESRI ジャパン株式会社　髙瀬委員
・株式会社パスコ　島崎委員
・社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センター　井上委員

○ **第2回研究会：2026年3月27日開催**
◆ 主な議論内容：
・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の整理
・「取組の方向性」の検討
（主に「ジオAIの未来・価値」、「実装・エコシステム」について）
・産学官ヒアリング①（主に利用者サイド）
◆ ヒアリング先：
・川崎重工業株式会社　・LocationMind株式会社
・つくるAI株式会社　・東京大学 日立東大ラボ
・一般社団法人 LBMA Japan 川島委員
・公益財団法人日本測量調査技術協会（オブザーバー）
・国立研究開発法人防災科学技術研究所

○ **第3回研究会：2026年4月20日開催**
◆ 主な議論内容：
・「取組の方向性」の検討
（主に「ジオAIのモデル」、「データ整備」、「データ連携・流通」、「進め方（ガバナンスなど）」について）
・産学官ヒアリング②
（AIモデルやデータ整備、データ連携・流通環境の提供者サイド）
◆ ヒアリング先：
・株式会社Preferred Networks
・ソフトバンク株式会社
・一般社団法人地理情報システム学会（オブザーバー）
・一般財団法人日本情報経済社会推進協会　坂下委員
・東京大学大学院　越塚委員

○ **第4回研究会：2026年5月25日開催**
◆ 主な議論内容：
・中間整理案の確認